こんにちは！介護サービス相談員です
皆さんの施設に月に2回程度おじゃましています

利用者さんの要望や心の声を聴きます
橋渡し役

介護サービス相談員がいる安心
(介護サービス相談員が市民の目線で介護施設を訪問します)

介護サービスなどの悩みについて
ご家族様もお気軽にご相談ください

一人で悩まないで相談してネ！

利用者さんの疑問・不安解消などのお手伝い
孤独感の解消など精神的なサポート

サービス利用者の権利擁護支援
身体拘束・虐待の抑止効果

介護サービス相談員は認知症サポーターです

夏でも温かいお茶が飲みたい

話し相手欲しい

することがなくて手持ち無沙汰なあ

やさしく介助してほしい

トピックス① 「高齢化の坂、社会保障」
大島 一博氏 (前厚生労働事務次官)

健康寿命延伸に大切なことは「あ・し・た」
あ：歩くこと し：しゃべること た：食べること

トピックス② 「老いの暮らしをつくる」
村田 幸子氏 (福祉ジャーナリスト/元NHK解説委員)

「老後、誰と、どこで、どんな暮らしをしたいか」
老いの暮らしについての考えは年齢、身体状況、家族関係、友人関係によって変化するもの。
状況によって変化する心を配慮して話を聞いてほしい。

皆さんの声

利用者さんとスタッフがおやつを手作りして笑顔で食べているのが印象的でした

あの人、いつ来るの？
職員の方に訪問日を確認していると聞きうれしく思った

ラーメンが食べたい

生野菜が食べたい

「いもまんじゅう」が懐かしかったあ〜!!

今日おしゃべりできてよかった

スタッフがよく声かけてくれるよ

相談員内部研修を実施しました

「精神疾患を抱える方への接し方～発達障害・統合失調症・認知症～」をテーマとして針生ヶ丘居宅介護支援事業所の大森 洋亮氏を講師にご講義いただきました。

嫌な出来事 → 感覚情報 → 大脳皮質 → 扁桃体 (感情) / 海馬 (記憶)

認知症になると海馬が損傷して記憶が次第に失われていくが海馬の隣にある扁桃体は好嫌や快不快を海馬に伝えるためインパクトのある出来事は記憶に残りやすい
⇒良い感情が残る対応が大切

認知症の人は忘れてほしいことは忘れないで、いやな思いをしたことを覚えているのはなぜ？

※講師の大森氏から資料の掲載については許可いただいております

編集後記
今年の2月は、大雪のため皆様が大変な思いで過ごされたと思います。私達は、皆様の笑顔と楽しいひと時を過ごしたく訪れています。介護サービス相談員の役割を多くの方に知っていただくと幸いです。

事務局：郡山市保健福祉部介護保険課 連絡先：024-924-3021